

2015 年度 森泰吉郎記念研究振興基金 研究成果報告書

研究課題名	気候変動リスクに対する「二重の脆弱性」の考察
研究代表者氏名	小林 周
所属	政策・メディア研究科 後期博士課程

本研究は、「気候変動は政治変動と安全保障にどのようなインパクトをもたらすのか？」という問いを立て、国家や地域における気候変動リスクへの脆弱性を高める要因（とその組み合わせ）を明らかにすることを目指す。研究を進める上で、気候変動リスクに対する地理的・気候的特性と政治的特性の「二重の脆弱性」という枠組みを設定し、また事例としては、気候変動に対する脆弱性が特に高いアフリカ諸国を対象とし、現地調査によるデータ収集や参与観察を行う。問題の分析だけでなく、当該地域の気候変動リスクの緩和策となり得る複数の施策についても工学的視点を取り入れつつ検討する。

2015 年度森泰吉郎記念研究振興基金の助成により、調査機材および関連書籍の購入、気候変動に関する現地調査（2015 年 9 月上旬、ケニア）および安全保障に関する国際セミナー出席（2015 年 11 月上旬、韓国）が可能となった。また、日本沙漠学会第 26 回学術大会での口頭発表（小林周「早魃が地域安全保障に及ぼす影響の検証：ケニア・カジアド県の事例から」）、国際安全保障学会 2015 年度研究大会での口頭発表（小林周「『気候安全保障』から見たアフリカの不安定化」）を行った。これらの成果により、研究課題に関する調査研究の蓄積と、今後の国際的な研究・学術交流ネットワークの構築が可能になった。

今後も、本研究を通して気候変動リスクへの脆弱性を高める要因（とその組み合わせ）を検証することで、今後深刻化すると想定されている気候変動に対処するための政策面での現状と課題、そして改善点を明らかにしていく。また、アフリカ地域を始めとして気候変動に脆弱な諸国が抱える特徴を明らかにし、問題解決のためのグローバルな取り組みに貢献するための知見を提供していきたいと考えている。